

## 鯨洲神社

国道45号線、岩手県と青森県の県境近く、横道をのぞくと赤い鳥居が見えます。



鳥居を抜けると、そこは鯨洲神社の境内です。

### <鯨洲神社の云われ>

江戸時代、この地方の海岸に多くの鯨が打ち上げられていて、この鯨を「寄り鯨」と呼んでいました。

文化15年(1818年)には、種市の八木から八戸の白浜まで、118頭もの鯨が寄り、角の浜だけで95頭も寄ったそうです。

この寄り鯨を藩は、競りにかけて売ったり、役人や浜の者に分け与えましたが、それでも処理しきれなかったので、百姓たちにも売ることにしました。金のない者には大豆と交換したそうです。

この地の人々は鯨による恩恵を大いに喜び、鯨を与えてくださった神様への感謝を伝えるために神社の建立を藩に願い出ました。

そこで藩は、「金華山弁財天」(宮城県石巻市の金華山黄金山神社にまつられています。)の分霊をご神体として、「鯨洲弁財天」として、この地にまつることとしました。

境内には、鯨の像も！

愛嬌がある顔立ちで、可愛い鯨ですね！

